



シラバス参照

タイトル「2014年度 経済学部シラバス」、フォルダ「2014年度 経済学部シラバス-専門科目(基礎専門科目)」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	ワールドエコノミー		
担当教員	金澤 孝彰		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	金 2	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 1年生		
科目名(英語表記)	World Economy		
開設学科	市場環境学科		
研究室	本館棟 E-421		
オフィスアワー			
授業の概要	本講義では、世界全体の経済情勢および各国・地域の経済事情に関する基礎的事実の把握に重点をおいていく。とりわけ、2007年のサブプライム問題、2008年秋のリーマン・ショック以降の混沌とした世界経済の行方が考察の主要対象となる。		
授業計画	毎回、A4版1枚程度の講義資料とB4版1～2枚程度の時事的な新聞記事資料を配付する。 90分講義時間中、前半はB4配付資料を中心に世界経済に関する時事的な解説を行い、後半は教科書の記述にもとづく講義を行う		
	回	内容	
	1	概論：現代世界経済を如何に把握するか(講義の進め方をめぐって、受講学生へのアンケート実施)	
	2	講義前半：前回講義日以降の世界経済関連記事をめぐっての考察(1) 同 後半：歴史の中の世界経済(1)	
	3	講義前半：前回講義日以降の世界経済関連記事をめぐっての考察(2) 同 後半：歴史の中の世界経済(2)	
	4	講義前半：前回講義日以降の世界経済関連記事をめぐっての考察(3) 同 後半：世界経済の連動をめぐって(G8からG20へ)	
	5	講義前半：前回講義日以降の世界経済関連記事をめぐっての考察(4) 同 後半：アメリカ経済について①	
	6	講義前半：前回講義日以降の世界経済関連記事をめぐっての考察(5) 同 後半：アメリカ経済について②	
	7	講義前半：前回講義日以降の世界経済関連記事をめぐっての考察(6) 同 後半：欧州経済について①	
	8	講義前半：前回講義日以降の世界経済関連記事をめぐっての考察(7) 同 後半：欧州経済について②	
	9	講義前半：前回講義日以降の世界経済関連記事をめぐっての考察(8) 同 後半：アジア経済について①	
	10	講義前半：前回講義日以降の世界経済関連記事をめぐっての考察(9) 同 後半：アジア経済について②	
	講義前半：前回講義日以降の世界経済関連記事をめぐっての考察(10)		

	11	同 後半：ラテンアメリカ経済について
	12	講義前半：前回講義日以降の世界経済関連記事をめぐっての考察(11) 同 後半：アフリカ経済について
	13	講義前半：前回講義日以降の世界経済関連記事をめぐっての考察(12) 同 後半：経済危機と世界
	14	講義前半：前回講義日以降の世界経済関連記事をめぐっての考察(13) 同 後半：域間協力と地域統合
	15	総括：世界経済と日本
到達目標	国際経済を取り扱ったジャーナル雑誌や『日本経済新聞』の国際経済面などの記事を理解できるようにする。	
成績評価方法	不定期的に出す課題(レポート、小テストなど)と期末試験から総合的に判断	
教科書	西島章次・久保広正編『現代の世界経済と日本』ミネルヴァ書房、2012年 時事的なトピックについては、『日本経済新聞』や『エコノミスト』誌などの関連記事・コラムを随時配布する。	
参考書	なし	
授業時間外学習	日本経済新聞の国際面および経済教室面を読む習慣をつけること(本学図書館HPのDBから記事は閲覧可能)	
受講を推奨する関連科目	東アジア経済発展論、現代中国経済論、EU経済論、比較経済体制論、通商政策、グローバルエコノミクス	
履修上の注意・メッセージ	毎回出席が望ましい	

